

連続ゼミ

19

# アクティビストのための ソーシャルメディア講座

ツイッター、フェイスブック、Ustream、クラウド……さまざまな可能性を秘めているソーシャルメディア。20年前のリオ環境サミットで12歳の少女セヴァン・スズキは、変化のための行動を訴え、その映像は今日までの間にYouTubeで約77万回再生されています。変化を呼びかけ大統領になったオバマのツイッターのフォロワーは約2700万人。30年に及ぶ独裁政権に終止符を打ったエジプトの「アラブの春」ではフェイスブックが大きな役割を果たしたと言われています。しかし、ソーシャルメディアはあくまでも新しい技術やフォーマットであり、大切なのはそれを使って何をするかです。社会を変え、世界に変化を起こすのは私たち。そのための技術と知恵を、最前線で活躍する講師が伝授します。実践編を交えながら一歩踏み込んだソーシャルメディアの活用方法を学びます。

■ 2013年5月～11月 ■ 基本的に月曜日 19:00～21:00

■ 全10回/定員20名 ■ 受講料：32,000円

※クラスにはご自身のPCをお持ちください。インターネット環境はあり。

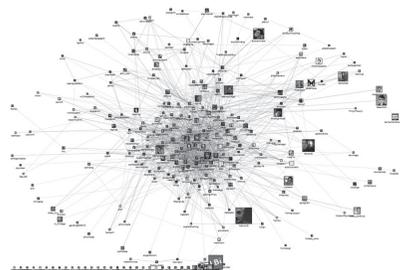
5/20

## ソーシャルメディアを活用して 共感の生態系をつくる

鈴木菜央 (greenz.jp 発行人/NPO法人グリーンズ代表理事)

共感でつながる人々の生態系をつくり、豊かにしていくことが、活動の成功のためには重要です。リアルな場づくりと、外へとつなげるソーシャルメディアの活用の両方を学びます。

● 主著：『ソーシャルデザイン』朝日出版社 2012



Marc\_Smith on Flickr

6/3

## 世界の社会運動はインターネットを 武器にどう活動を広げたか？

印鑰智哉 (メディア・アクティビスト)

ソーシャルネットワークが発達する前から社会運動は情報を共有するメディアを求めていた。世界の社会運動はデジタルメディアで相互にどうつながりつつあるかを知る。

● 参考HP：http://blog.rederio.jp/



6/17

## 実践編① Facebook、Twitterを 効果的に使うためのツール集

笠原孝弘 (NPOサポートセンター /NetSquared Tokyo)

FacebookやTwitterをはじめとするソーシャルメディアでの情報収集や発信、分析、モニタリングを効果的に実行できる「オンライン便利ツール」を解説&実際に活用します。



MIKI Yoshihito on Flickr

7/1

## ウェブで蔓延するソーシャルの誤解

一言質と技術に誘導されないための知恵

森 健 (ジャーナリスト)

誰でもメディアを持てる現在、その特性ゆえに目的や手段を履き違えたり、技術を盲信してしまう人がよくいます。ソーシャル全盛だからこそ陥りがちな問題について語ります。



lovelornpoets on Flickr

● 主著・参考文献：『ビッグデータ社会の希望と憂鬱』河出文庫 2012、『グーグル・アマゾン化する社会』光文社新書、2006

7/22

## 〈民衆版〉映像の世紀

—メディアの枠を虹色に拓げる



白石 草 (OurPlanet-TV 代表)

市民メディアは技術の進化とともに進化しています。新しいさまざまなメディアを使えば、私たち自身が取材し、番組をつくり発信することもできます。いつもマスメディアが正しいとは限らない。私たち自身でいま何が必要とされているのかを考え、どんな声を出すべきなのか話し合ってみたいと思います。



● 主著：『ビデオカメラでいこう ゼロから始めるドキュメンタリー制作』七つ森書館 2008、『メディアをつくる「小さな声」を伝えるために』岩波ブックレット 2011 ● 参考文献：ミッチ・ウォルト『オルタナティブ・メディア 変革のための市民メディア入門』大月書店 2008/細谷修平(編集)、メディアアクティビスト懇談会『メディアと活性 What's media activism?』インパクト出版 2012

9/2

## 実践編② Ustreamで 1-DAYアクティビスト番組を放送する

白石 草 (OurPlanet-TV 代表)

7/22のクラスで話しあったことを踏まえて、この日この時間限りの一日番組を報道します。果たして私たちはどんな番組を企画するのか。それはまだ誰にもわかりません。自分たちの思いをカタチにし、発信する側を体験しましょう。

● 主著：『ビデオカメラでいこう ゼロから始めるドキュメンタリー制作』七つ森書館 2008、『メディアをつくる「小さな声」を伝えるために』岩波ブックレット 2011



casek on flickr

9/30

## 愛とユーモアの社会運動？

—楽しい活動のために！



渡邊 太 (大阪国際大学人間科学部 講師/国際脱落者組合)

ただ生きていくことに並々ならぬ労力を要する社会の中で、どうやって他者とつながりオルタナティブな生活をつくりだせるか。社会運動のユーモアに注目しながら考えていこう。

● 主著：『愛とユーモアの社会運動論 末期資本主義を生きるために』北大路書房 2012



lovelornpoets on Flickr

10/21

## 人と人との関係を創造する情報技術と社会運動

印鑰智哉 (メディア・アクティビスト)

情報技術は人と人との関係を変える。しっかり取り組もう。誰かボランティアにまかせるような姿勢では、本当の市民のメディアや力のある社会運動は作れない。力にしよう。

● 主著：『メディアと活性 what's media activism?』(共著) インパクト出版 2012 ● 参考HP：http://blog.rederio.jp/topics/ict



Ahmed Abd El-fatah on Flickr

11/11

## 実践編③ みんなの力

— “アイデア・署名・寄付”をつなげる  
クラウドの参加方法・活用方法

笠原孝弘 (NPOサポートセンター /NetSquared Tokyo)

「アイデア」や「活動資金の小額寄付」を集めるサービス、業務の効率化やオンラインコラボレーションを実現するアクティビストの「クラウドサービス」の活用事例を紹介します。

11/25

## ソーシャルメディアゼミ最終回 Stand Alone Complexにチャレンジ

これまでに学んださまざまなソーシャルメディアの知識を使って、実際に社会アクションを巻き起こすことができるか、チャレンジします。

